

人権課題	① 女性	② こども	③ 高齢者	④ 障がい者	⑤ 部落差別(同和問題)	⑥ アイヌの人々	⑦ 外国人
	⑧ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動		⑨ 感染症の患者等	⑩ ハンセン病患者・元患者及びその家族		⑪ 刑を終えて出所した人及びその家族	
	⑫ 犯罪被害者及びその家族		⑬ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等		⑭ 性的マイノリティの人々	⑮ その他	⑯ 人権一般

※人権課題の分類は、令和7年6月、国が策定した「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」によります。

地域	人権課題																氏名・名称	活動内容(表記は、登録者・団体の登録票による)	ホームページ アドレス
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯			
東信				○											○	○	井出 今日我	「障がいの有無で分けないダイバーシティに溢れた共生社会」実現に向けて様々なアプローチを行っています。 筋ジストロフィーという特徴のある井出と心臓に特徴のある仲間と小中高等学校や教育機関などでの講演活動を通じたアプローチ。 障がいではなく特徴と表現することで変な特別感を減らす意図があります。 長野県ヘルプマークディレクターとしてのアプローチ。 電動車椅子サッカー選手としてのアプローチ。 多様な人の社会的自立と経済的自立を目指す凸凹's(でこぼこず)という団体としてのアプローチ。 「障がい者」という分野を超えたアプローチをしています。 若い頃から多様性に触れる経験や心のバリアフリーを育むことで、数年後・数十年後に人を「障がいの有無」などで分けない大人に育っていく事を願っています。 現地での講演やオンラインでの講演など、対応可能です。ご相談ください。	
南信															○		寺沢秀文 (満蒙開拓平和記念館館長)	1. 1990年代より中国帰国者の永住帰国支援活動等に参加。 2. 日中友好協会会員として日中友好活動に参加すると共に満蒙開拓の史実の継承活動等にも従事。 3. 2013年開館の「満蒙開拓平和記念館」の建設に当初より関わり(現在館長)、県内外等で満蒙開拓についての講演等行う。 4. 「中国残留孤児未判明肉親調査員」等として現在も活動。	<a href="https://www.manmoukinenk-an.com">https://www.manmoukinenk-an.com</a>
中信															○	○	遠藤 麻衣	自身の骨髄バンク登録の経験や最愛の母親の臓器提供の経験を通して、命の大切さを伝えます。身近にいる家族を改めて考えて、「当たり前で過ごしている日常はかけがえのないもの」、「生きているということは素晴らしいこと」ということを自分事に引き寄せて考える機会になればと思います。 演題(例):「いつかの言葉が希望になる～臓器提供と家族の思い」「命のバトン～医療者じゃなくてもできること～」「いつかの言葉が希望になる～私と母が話していたこと～」	